



達人の旅指南
第106回

フリーライター 加藤隆悦

仙北市
田沢湖畔

田沢湖ローズパークホテル

優れた景観が魅力の宿

田沢湖畔のたつこ像や浮木神社がある湯尻地区の湖岸に立つ田沢湖ローズパークホテル。対岸には秋田駒ヶ岳を眺めることができる。

このホテルはもともと県営田沢湖レークサイドホテルとして1968(昭和43)年にオープン。上皇さまが皇太子時代の1970(同45)年、初めて来県された折に秋田の第一夜を過ごされた宿でもあった。ホテルはその後変遷をたどり、2011(平成23)年から現在の運営会社が田沢湖ローズパークホテルの名で営業している。

レークサイドホテル時代は全室



田沢湖ローズパークホテルの前庭にはバラ園がある。バラの季節には350種1500本の花が咲き誇る



立ち寄りカフェレストランも利用したい

ホテルの庭もリゾート気分を募らせる

和室だったが、現在はリニューアルして全38室とも洋室。エキストラベッドの用意はあるものの、基本はツインもしくはダブルの一室2名での宿泊がベースになっている。

客室の半数は湖を望めない山側となっているが、リーズナブルなライセンスを求めないならば、大きな

本格フレンチを楽しむ





- 1 帆立貝のマリネ、ホタルイカガーリックソテー、稲庭うどんパスタのオードブル
- 2 スープ ドゥ ポワソンは赤海老と真鯛のポワレ、クリームスープ仕立て
- 3 メインディッシュは和牛サーロインステーキのグリル
- 4 自家製チーズタルト、フルーツ添えのデザート



メインダイニングは大きな窓から湖を眺めながら

例年は11月下旬から3月いっぱいまでクローズしているが、冬の田沢湖も注目されだしているので、今後は通年営業も検討中とのこと。

JR田沢湖駅からホテルまで、希望の列車時間に合わせて無料送迎している(要事前予約)。また、田沢湖駅発着の田沢湖一周路線バスを利用して、バス旅気分を楽しむのも一興だろう。最寄りバス停は濁尻。復路では御座の石神社前で観光停車する。

(文・写真1かとうりゅうつづい秋田市)

田沢湖ローズパークホテル

TAZAWAKO-ROSE PARK HOTEL

〒014-0511 仙北市西木町西明寺字濁尻78

TEL.0187-47-2211

FAX.0187-47-2104

<http://tazawako-hotel.jp/>

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。



大浴場も田沢湖を眺めながらゆったりと



上質な美術館のような雰囲気もあるロビー



絵画を多く展示しているホテルだ。一部は販売もしている



クリアカヤックやサップなど、アクティビティメニューも用意されている

窓から真正面に田沢湖を眺められるレイクビューの部屋に泊まりたい。この見晴らしこそ、この宿に泊まる最大の価値、と言えるかもしれない。夕食は、秋田や岩手の食材を多用した本格フレンチ。これを、湖に面したレストランでいただく。おいしく、かつ、とてもムードに溢れるディナータイムだ。オーベルジュ(泊まれるレストラン)として、結婚記念日や誕生日などの記念日に泊まりたいホテルとしてチェックしておきたい。

温泉宿ではないが、各客室にジェットバスが備わっており、贅沢で優雅なバスタイムを味わえる。ほかに、ゆったり入浴できる男女別の大浴場もある。窓の外はすぐ湖で、さながら、大型船の浴室にいる気分だ。

盛夏の短い期間に限られるが、湖上で楽しむクリアカヤックやサップ(スタンドアップパドルボード)などのアクティビティメニューも宿泊客限定で用意されている。

ローズガーデンも必見

近年は台湾、香港、シンガポール、タイなどの海外からのお客さまも多く、国際色溢れるリゾートホテルになっている。また、リピーターや連泊するお客さまも少なくなく、旅慣れた人にも喜ばれているようだ。

ローズパークホテルの名の通り、前庭に自前のバラ園を有し、6月中旬〜7月中旬、9月下旬〜10月上旬の2度の期間にわたり、350種1500本のバラが咲き誇



東を向くレイクビューの窓から湖面越しに朝日が差し込む

大きな窓から湖畔風景が一望できる

